



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：第9回 GCC 首脳諮問会合 (5月16日付現地各紙)

1. 5月15日、リヤドでアブドラ国王が議長となり、「第9回 GCC 首脳諮問会合」が開催され、カーリーファ UAE 大統領、ハマド・バハレーン国王、ハマド・カタール首長、サバーハ・クウェイト首長、ファハド・オマーン副首相（カーブース国王名代）が出席した。尚、同会合には、サウジ側よりスルタン皇太子、ムトイブ都市村落相、ナーフ内相、サルマーン・リヤド州知事、サウード外相、ムクリン総合諜報庁長官他が同席した。
2. 会議終了後のアッティヤー GCC 事務局長の記者会見
 - (1) GCC 共同市場・共同アクションについて
 - (イ) GCC 首脳は、(a) 本年末に予定されているマスカットでの次回 GCC 首脳会合までに GCC 関税同盟設立に向けた全ての障害を除去すべく、関係閣僚に指示すること、(b) 次回 GCC 首脳会合で宣言が予定されている GCC 共同市場の設立に向けて、全ての障害が除去され、必要な措置が講じられること、(c) GCC 域内での統一水供給プロジェクトに関し、GCC 事務局が次回首脳会合までに調査報告を取り纏めること、の3重要決定を行った。統一水供給プロジェクトには、第一次予算が割り当てられており、事務局で報告書の作成が行われている。
 - (ロ) GCC 首脳は、サウジと UAE の両国が、「両国国民が所持する ID カードのみで両国間の往来を認める」合意に達したことを歓迎した。
 - (ハ) GCC 共通通貨については議論されなかった。しかし、共通通貨達成の目標時期は2010年に変わらない。本件は、今後も協議され、本年10月には進捗状況レビューのための各国通貨当局による会合が開催される予定。
 - (2) 核技術開発

GCC 首脳は、GCC 諸国における平和利用を目的とした核技術の共同開発に関し、IAEA の基準に完全に沿った第一次報告書を作成するよう指示をした。同報告書は、次回の首脳会合に提出される。本件については、5月20日に事務局で専門家会合が開催されるとともに、IAEA の専門家も交えた別会合が予定されている。
 - (3) 地域情勢
 - (イ) パレスチナ情勢：GCC 首脳は、パレスチナの各指導者がメッカ合意を遵守すること、全ての暴力を停止させるとともに、当該暴力の原因となっている者達に責任を負わせること、パレスチナの一体化の強化に努めることを呼び掛けた。
 - (ロ) アラブ和平イニシアティブ：GCC 首脳は、アラブ和平イニシアティブを関係地域及び国

際機関と共にフォローアップするために、アラブ連盟委員会の努力につき協議した。又、GCC 首脳は、アラブ和平イニシアティブに対する国際社会からの前向きな反応に満足の意を表明するとともに、かかる国際社会の立場が可及的速やかな和平プロセスの活性化に繋がることへ強い期待を表明した。

(ハ) イラク情勢：GCC 首脳は、イラクでのテロと暴力の激化、治安情勢の悪化、セクト間対立の激化、無実のイラク国民の苦悩の継続に深い悲しみを表明すると共に、イラク政府指導部に対し、国民融和の早期実現、憲法改正、全てのイラク国民への公平な富の配分、武装民兵の解体をはじめとする政治及び経済改革の実施を呼び掛けた。又、GCC 首脳は、いかなる外国によるイラク内政への干渉の危険性を指摘した。

(二) イラン関係：

(a) GCC 首脳は、イランの核開発問題に関し、イラン及び地域諸国が緊張の高まりを回避していくためにも、同問題の平和的解決の必要性を強調した。

(b) イランの核開発問題については、地域における水及び環境汚染、核兵器開発競争の観点から懸念している。

(c) GCC 首脳は、アフマディネジャード・イラン大統領の UAE 訪問を歓迎した。我々は、同大統領による歴史的な UAE 訪問が、UAE・イラン両国間のアブー・ムーサ島、大・小トンプ島の3島問題の解決に繋がることを期待している。

(ホ) レバノン情勢：GCC 首脳は、レバノンにおける緊張状態の継続、レバノン政治危機解決への進展が何もない事態に遺憾の意を表明すると共に、レバノンの政治指導者に対し、レバノン国民の利益及びレバノンの安全と安定に尽くすべく、レバノンとしての立場を一つにすることの重要性を呼び掛けた。